

JA共済 まとまった資金の活用に最適!

入れるんです。

JAの 積立型終身共済

モデル
プラン

一時払共済掛金100万円女性65歳加入の場合

病気で万一の場合

1,115,217円

解約される場合(参考)

1,105,117円

一時払共済掛金
1,000,000円

10
年後

解約返戻金は第12月度に解約した場合であり、それ以前の解約の場合、この金額を下回ります。

仕組みイメージ図



ご加入 第1共済期間 80歳 第2共済期間

④第1共済期間とは、契約日から被共済者が80歳に達する日の属する共済年度の末日までの期間をいいます。この間、病気で万一のときの保障が積み立てられていきます。
④第2共済期間とは、第1共済期間満了日の翌日以降の期間をいいます。病気で万一のときの保障は、災害で万一のときと同額になります。
各年齢ごとのお支払金額は上の例を参照ください。

年平均利回り
1.05%

40歳~75歳までの、一定条件を満たす方なら手軽に加入できます!

①健康上の理由でご加入いただけなかった方も一定の条件を満たせば加入できます。

②医師による診査の必要はなく、カンタンな手続きで手軽にご加入いただけます。

※健康状態の程度、ご職業などによってご契約いただけない場合もあります。

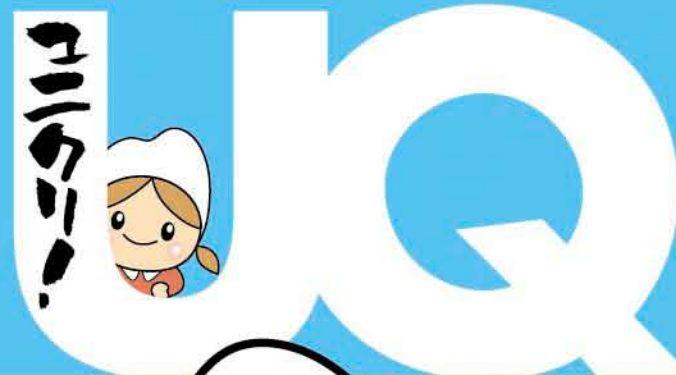
お問い合わせは

JAそらち南 本所共済課 ☎72-1406
由仁支所 ☎83-2322

※この資料は概要を説明したものです。ご検討にあたっては、「重要事項説明書(契約概要)」を必ずご覧ください。また、ご契約の際には、「重要事項説明書(注意喚起情報)」および「ご契約のしおり・約款」を必ずご覧ください。

※このチラシの有効期限は平成25年3月31日まで。

12010504005



www.ja-sorachiminami.or.jp



JAそらち南
コミュニティ情報誌
Vol. 5
JAそらち南コミュニティ情報誌/UNIQLI
Vol. 005
2012年4月27日
発行 JAそらち南農業協同組合
北海道夕張市山手町中央3丁目104
TEL 0123-72-1313 FAX 0123-72-3364
http://www.ja-sorachiminami.or.jp



私たちの
生活が
変わります!



TPP

昨年11月、過半数を超える国会議員や8割を超える地方議会からの反対・慎重の声が上がる中、野田総理大臣は「TPP交渉参加に向けて関係各国との協議を開始する」と表明しました。総理の「事前協議表明」は、議論が全く成熟していない段階での見切り発車そのものであり、誠に遺憾であります。

JAそらち南ではTPP断固反対を掲げ、TPP問題を一緒に考え、改めて危険性を理解していただくよう3月2日にTPPチラシの配布、4月27日には道民反対集会への参加など積極的な取り組みを実施しております。

4月5日に開催されたJAそらち南第3回通常総代会においては、「TPPなど、貿易交渉に関する特別決議」が承認され、わが国の食料安定供給への更なる貢献を果たすという使命感に立ち、次の事項の実現のために強力な運動を展開して参ります。

1. 例外なき関税撤廃を原則とするTPP交渉への正式参加表明の断固阻止

2. 日豪EPAや日中韓FTAなど、すべての貿易交渉での重要品目の関税維持

3. 食料自給率50%の目標達成による食料安全保障の確立の観点など「真の国益とは何か」を問う国民的議論、理解成熟に向けた取り組みの強化

TPP締結してしまっ、
私たちの未来は本当に大丈夫なの？

輸入が自由化し、関税がなくなると外国産農産物が安く日本のスーパーに並ぶことになります。

これはいいことではないのですか？

そうかな〜！安いけれど、外国でどんなふうに使っているのか、わからないし…農薬や、遺伝子組み換えなど、いろいろ聞けど…心配。

そうですね、日本は今、農産物を安全にみなさんへ届けて安心して食べてもらえるように厳しく残留農薬基準を定めています。でもTPPに参加して日本の厳しい残留農薬基準が国際基準にあわせてゆるくなってしまいます。そうすると、今まで通り知らず知らずのうちに農薬が多いものを口にするようになってしまいます。

食の安全と安心

〜日本の厳しい残留農薬基準が国際基準にあわせ引き下げられる。

- ①ポストハーベスト農薬(収穫後の農薬使用)の許可
- ②遺伝子組み換え食品の輸入
- ③BSEのリスクのある牛肉の輸入
- ④残留農薬の規制緩和

日本にたくさん安い農産物があるとその他にどういう影響があると思いますか？

う〜ん…むずかしい。

外国の大規模農家と戦うということは日本の大部分の農家にとって大変痛手をうけます。日本の野菜が売れなくて、農家をやめざるを得ない人がでできます。そうすると日本産、地元の農産物をつくる人が減るので、将来、日本産の農産物がとても少なくなって、いざというとき自分の国で自分の食料をまかなえなくなるのです。

大変だ。日本で日本のものが食べられなくなる!!

他の国は自分の国で自分たちの食料をまかなおうという自給率を上げる努力をしている中、日本の食糧自給率は、40%で先進国中最低です。TPP参加で自国に作る力がなくなったとき、他の国に依存してその時困ってもう遅いのです。

日本農業への影響

〜関税撤廃により、外国産の農産物の輸入増加

- ①圧倒的に安い輸入農産物との競争で多くの農家は壊滅的な打撃を受ける
- ②食料自給率の低下による食料不足の懸念

本日
TPP交渉
反対道民集会

TPP
絶対反対!



みなみはこう考えます!
私たちの「暮らし」や「いのち」を外国の企業に委ねてはいけません!
これまで培ってきた「この国日本のかたち」を守っていかなくては!

TPP
ほんとに大丈夫?

私たちは、働いてお金を得て生活していかなく
てはなりません。でもTPPで外国から安い人材が
入ってくると日本人が働く場が狭まったり、賃金
が安くなったりしかねません。

働くところが少なくなってしまいます。
どうしよう!

就労ビザのハードル撤廃により、安い
人材が外国から入ってきて、企業は安
い外国の人材を雇用できるので、日本
人の雇用減少につながり、失業者も
今以上に増加します。

雇用、地域経済

〜就労ビザのハードル撤廃、公共事業の開放、安い輸入品の増加

- ①デフレの進行
- ②国内雇用は減少し、日本人の失業者が増加
- ③給料が下がり、儲かるのは企業だけ
- ④公共事業の競争激化により地元中小企業の倒産の恐れ

TPPは農業だけでなく、私たちの生命に
かわる医療にも影響をおよぼします。
病気になったときに困ってもう遅い!

今は病院で健康保険を使って医
療を受けています。病気になった
ときに、とても助かりますね。外国
医療資本が入ってきたり、混合診
療の全面解禁が実施されると、営
利企業が病院経営をすることにも
なりかねません。公的医療保険で
の診察も限界がでできます。お金
がなければ必要な医療が受けら
れなくなることも考えられます。

生命にかかわる問題なので、
もう一度真剣に考えなければ!

医療問題

〜外国医療資本の流入や混合診療の全面解禁が実施されると、営利企業が病院を経営するようになって公的医療保険での診察が減る。

- ①混合診療解禁による高額な保険外診療の拡大
- ②過度なコスト削減で医療の質が低下
- ③所得による診療格差拡大
- ④ビジネスにならない診療科目や地域からの撤退